縄文杉周辺の再整備に関するテーマと具体的な整備について

資料４－１（別紙６－２）

縄文杉周辺の再整備のテーマ

体感　神秘の生態系
－悠久の時を刻んだ森林景観を感じよう－

これまでの意見

（H25年度 第3回地域連絡会議幹事会 発言）
- 一番満足度の高まる利用体験の提供
- この自然を守ろうという意識を持ってもらう

（屋久島世界遺産地域管理計画 p. 18）
- 縄文杉を含む原生的な天然林が持つ荘厳さの体験

（H３年度 屋久島縄文杉登山のあり方検討会報告書 p. 6）
- 縄文杉を含めた屋久島全体の自然についての理解と認識を深める空間

（H26. 2. 19 観光協会意見）
- 森の中に生える１本の木として縄文杉を感じてもらう

（H25年度 第3回地域連絡会議幹事会 発言）
- 世界や日本全体の屋久島世界自然遺産を見る人の目を意識
- 顕著な普遍的価値を維持管理していくという責任を示す

提供する利用体験

１．縄文杉そのものに出会えた達成感

→ 長時間の登山の末、最後にその荘厳な姿が目に飛び込む見せ方。

２．縄文杉のたたずむ空間とその時間を感じたときの発見と驚き

→ 縄文杉だけではなく、その縄文杉が生きてきた森という空間が感じられる見せ方。

３．縄文杉という存在を可能にした場所の神秘性（インスピレーションに近いもの）

→ 森のなかにたたずむ巨大な姿に神々しさを感じてもらえる見せ方。

発信する情報、姿勢

→ ストーリーとテーマを設定した利用環境としての整備の実施。

→ 縄文杉を含めた天然林の荘厳さを保全するという姿勢の発信。

具体的な整備

- 縄文杉ルートそのものの維持
- 北側デッキの代替デッキ

- 北側デッキの代替デッキ
- 南側デッキの代替デッキ
- 縄文杉周辺の植生回復

- 南側デッキの代替デッキ
- 縄文杉周辺の植生回復

- 縄文杉のケーブリング撤去
- 縄文杉周辺の植生回復